

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 24 年 5 月 17 日 (木)

## ◎項 目

- 1 年間広報計画の策定について【総務部】
- 2 木質ペレット燃焼灰からの放射性物質の検出について【林業振興・環境部】

## ◎内容

### 1 年間広報計画の策定について【総務部】

総務部から、年間広報計画について、説明を行った。

#### 【概要】

- ・各部局において事業の新設や進捗状況等の変化により、計画内容に変更があった場合は、部局と広報広聴課で情報を共有したいので、広報広聴課への連絡をお願いする。
- ・広報素材について、広報誌の記事等は3カ月前、お知らせ等については2カ月前の各10日頃に概要の提出を全庁メールにより依頼しているので、提出をお願いする。
- ・広報誌、広報番組の原稿・校正ゲラは、必ず政策広報推進員の確認をお願いする。また、内容に応じて部局長への報告もお願いする。
- ・記者発表を行ったときや報道で大きく取り上げられたときは、その直後から県庁ホームページへのアクセスが増えている。既存資料を担当課のホームページに掲載するなど、できる限り早期に対応し、その後に整理した情報の掲載及び更新前の情報整理をお願いする。
- ・新聞記事やニュースの高い伝達性の活用について、イントラの県政記者への情報提供に基づき適正な情報提供をお願いする。また、報道機関からの取材やアンケートには、誠意ある対応と必要に応じて秘書課との事前協議をお願いする。

### 2 木質ペレット燃焼灰からの放射性物質の検出について【林業振興・環境部】

林業振興・環境部から、木質ペレット燃焼灰からの放射性物質の検出について、概要説明を行った。

#### 【概要】

- ・ヨーロッパ材を原材料とした木質ペレットの燃焼灰から放射性物質が検出された。
- ・木質バイオマスボイラーは、燃焼灰と仕切られた別の部屋の空気を温めて施設内を加温しているため、放射性セシウムを含んだ空気が施設内に放出されることはなく、農作物への影響もない。
- ・燃焼灰周辺への影響は、サンプル調査の結果、安全性に問題はなく、なお、ハウスで採ったピーマン、ナスのサンプル調査では検出されていない。
- ・県内で木質ペレットを使っているボイラーは144台あり、流通経路の把握、個別の追跡調査は可能。
- ・今後、農業振興部と分担して全ての悉皆調査を行うとともに、焼却灰の処理状況についての現状把握等を行う。